

2026 年 8 月 26 日

News Release

芙蓉総合リース株式会社

(コード番号：8424 東証プライム)

代表取締役社長 織田 寛明

ヒューマノイドロボットの社会実装を目指すコンソーシアム「J-HRTI」へ参画

～フィジカル AI 分野における新規ビジネスの創出～

芙蓉総合リース株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 織田 寛明、以下「芙蓉リース」）は、ヒューマノイドロボットの社会実装を目的とした民間コンソーシアム「J-HRTI（Japan Humanoid Robot Training & Implementation／ジェイハーティ、以下「J-HRTI」）」に、金融業界として初めて参画しましたのでお知らせいたします。

また、J-HRTI は、本日 2026 年 8 月 26 日より、日本初（※1）となる産業用ヒューマノイドロボットの学習データ収集センター「J-HRTI 関東データファクトリー」（千葉県習志野市内）を開所し、本格稼働を開始しますので、あわせてお知らせいたします。



J-HRTI は、実世界の「労働そのもの」を変革する新たな改善プロセス「PX（Physical AI Transformation）」を提唱し、日本におけるヒューマノイドロボットの早期社会実装を目指す民間企業で構成されたコンソーシアムです。

少子高齢化に伴う深刻な労働力不足や生産性向上が喫緊の課題となっている現代において、人間の複雑な作業動作を高精度に再現できるフィジカル AI を搭載したヒューマノイドロボットの社会実装に大きな期待が寄せられております。

しかし、ロボットが現場で実用的に稼働するためには、人間の作業動作を高精度に学習するための膨大なリアルデータを蓄積する必要があります。これには多大な専用設備、人員、ノウハウ、そして資金を必要とするため、単独企業での取り組みには限界があります。J-HRTI は、この課題を業界の垣根を越えた「共創」の共同基盤によって解決するために設立されました。

本日より本格稼働を開始する「J-HRTI 関東データファクトリー」は、約 1,400 平方メートルの敷地に最大 40 台（稼働開始時 35 台）のヒューマノイドロボットと専門オペレーターが常駐する日本初の本格的なデータ収集施設です。施設内は、模倣学習の元データを生成する「ロボットエリア」、動画や関節データを AI が理解できる学習データへと変換する「アノテーションエリア」、実環境での検証・調整を反復する「テストエリア」の 3 つの機能を備え、データの生成から実環境検証までを一気通貫で実施できる環境を整えています。

芙蓉リースグループは、2022 年度からスタートした中期経営計画「Fuyo Shared Value 2026」において、CSV（Creating Shared Value：共有価値の創造）の実践を通じた社会課題の解決と経済価値の同時実現により、企業グループとしての持続的な成長を目指しております。

本コンソーシアムへの参画を通じて、初期投資の負担を軽減するファイナンスパッケージや業界特化型の RaaS（ロボット・アズ・ア・サービス）等の独自のビジネスモデル構築を図ることで、国が戦略的投資を推進するフィジカル AI 領域において、新たな事業機会の創出と豊かな社会の実現に貢献してまいります。

◆コンソーシアム「J-HRTI」概要

- ・名称：J-HRTI
(Japan Humanoid Robot Training & Implementation)
- ・設立日：2026 年 3 月 26 日
- ・事務局：INSOL-HIGH 株式会社
- ・参画企業：株式会社山善、株式会社ツムラ、
株式会社ディーエムエス、
芙蓉総合リース株式会社 ほか(敬称略・順不同)



(※1) 国内の民間企業のみで構成される団体が運営するフィジカル AI・ロボットデータファクトリとして日本初

以上

お問い合わせ先
芙蓉総合リース株式会社 コーポレートコミュニケーション室 (担当) 渡邊
電話番号：03 (5275) 8891 URL：<https://www.fgl.co.jp/>